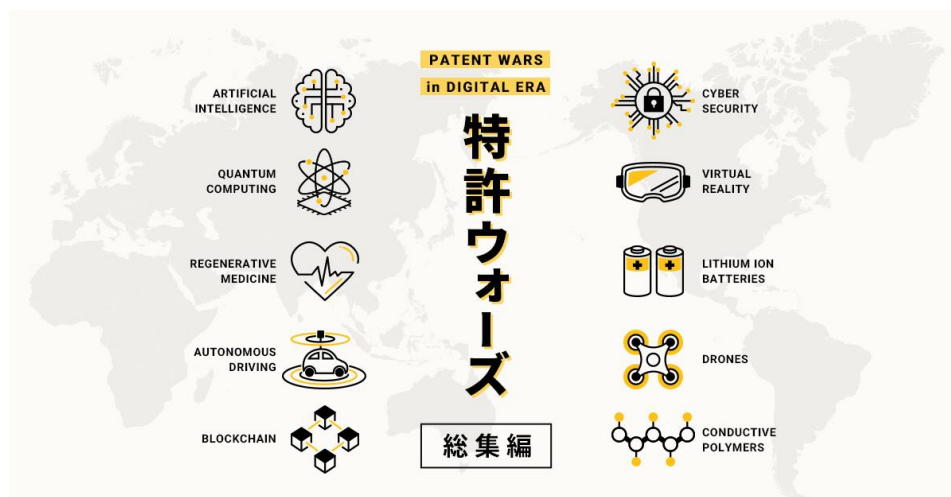


## 日経電子版のビジュアルデータが日本タイポグラフィ年鑑 2021 部門ベストワーク賞を受賞

日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田直敏）の電子版コンテンツ「米中が火花 特許を巡る競争、図解で解説」が10日、文字を使ったデザインの優秀作を掲載する「日本タイポグラフィ年鑑 2021」のインフォグラフィックス部門ベストワーク賞を受賞することが決まりました。



受賞作品は「米中が火花 特許を巡る競争、図解で解説」で、日経電子版の主力ビジュアルコンテンツである「ビジュアルデータ」として2月12日に公開しました。先端10分野の技術特許情報をグラフやイラストを用いて分析し、米国と中国が技術覇権を競う構図を解説する内容です。

年鑑を毎年発行している日本タイポグラフィ協会はデザイナーや研究者で構成します。一般公募で作品を受け付けた賞は11部門。インフォグラフィックス部門はグラフチャートや統計図表、地図、説明図、ピクトグラムなどのデザインを用いた作品が対象となりました。年鑑は21年4月に発行される予定です。

受賞対象ページ

<https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/patent-wars/>

受賞紹介ページ

<https://www.typography.or.jp/topics/topics01.html#t204>

日経ビジュアルデータ

日経ビジュアルデータは、グラフや写真、地図を主体として、ニュースの真相や世の中のトレンドに迫るコンテンツです。日経の編集チームが収集したデータを分かりやすく表現し、読者自身が知りたい情報を探せるサービスとして提供しています。取材力と編集力、デジタル技術を組み合わせ、ニュースをよりわかりやすく伝えます。ビジュアルデータは、コンテンツ制作から流通経路に至るまで、デジタル時代ならではの新たな報道の形を追求しています。

[〈https://vdata.nikkei.com/〉](https://vdata.nikkei.com/)

---

#### 日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は現在約206万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は80万で、有料・無料登録を合わせた会員数は500万を上回っています。

#### 本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)